碧水だより

○平成２１年　１月２１日発行　第８号
○阿蘇市立碧水小学校　文責　麻生廣文
○主な記事：（１面）年頭のごあいさつ
・雪の風景・１月児童集会
（２面）１２月授業参観・学級懇談会
ＰＴＡ教育講演会（ばってん・城次氏）

学ぶ心　鍛う心　磨く心

清らかな碧水の心を育てるために

平成２１年の年頭にあたって

あけましておめでとうございます

年頭にあたって

明けましておめでとうございます。経済や政治の混乱・厳しい状況もありますが、皆々様のご家庭でも、ご家族おそろいで新しい年をお迎えのことと存じます。

ところで、地域・保護者の皆様には、昨年一年間大変お世話になりました。特に、地域あげての運動会や碧水フェスティバルでは、区長様方はじめたくさんの方々にご協力いただき本当にありがとうございました。子どもたちがすくすくと育っているのも、保護者や地域の皆様の温かい励ましや見守りがあればこそと思って感謝申し上げます。

子どもたちも一月八日に元気に登校し、学年のまとめの時期として、三学期のめあてを考えたり、今年の目標を決めたりいたしました。五十日あまりの短い三学期だからこそ、充実した日を送ることができます。

さて、私ごとですが、本年は「丑の年、一歩一歩確実に歩みたい。」このような賀状にたくさん出会いました。私の家族は毎年、一月一日には、すぐ近所の神社にお参りします。また、一月二日には、阿蘇神社とお寺に詣でます。その寺では、例年、御堂の中でお坊様のお話があります。

・・・昨年は戊子（つちのえ・ね）、今年は己丑（つちのと・うし）の年です。戊子の「戊」は茂に通じ、草木がたくさん茂っているさま。「子」はねずみであり、子宝に恵まれ、繁栄の年であったけれども、昨年はあまりよくないことがたくさん、しかもめまぐるしく発生した。文字通り「変」の一年であった。己丑の「己」は平行線が三本あるように条理整ったことを表しているが、他方、自己という漢字のごとく「おのれ」をも表している。「丑」は牛であり、粘り強く、誠実に歩み続ける一年になりそうである。昨年の変化の多い年を踏まえ、自己をみつめ条理をわきまえた誠実・確実な一年にしてください。・・・要約するとこのようなお話でした。

また、阿蘇神社では、「今年は丑年。歩みは遅くとも子どもたちを認め、ほめ、励まし、伸ばすことを念頭に置き、確実な一年にしたい。見守り下さい。」とお祈りしました。

※　匠の技（得意分野を伸ばす）

原田多加司（檜皮葺師・柿葺師）1951 年滋賀県生まれ

ベテラン職人のＫさんは若い弟子の用い方がうまい。人づくりの要諦（ようてい）というものがもしあったとすれば、それぞれの若者の長所を伸ばし、欠点には目をつぶることだという。

人には、長所と短所があり、学校などの勉強では苦手科目の克服が課題となるが、職人の修行ではちょっと違う。職人の世界では可も不可もない「のっぺらぼう」では困るのである。これといった特徴のない子では、早晩、皆の中に埋もれてしまうことが多いのだ。

別に職人の世界でなくても、欠点がわかればなんとかして直そうとする。本人が気付いていない場合は、親方や先輩がそれとなく「叱って育てる」ことになる。戦後の学校教育の主流がこのやり方だったことから、一見この方法はわかりやすい。

しかし、職人の修行のように時間がかかるものでは、今さら短所の克服に割（さ）ける時間はあまりないのが現実である。

さらに、今まで短所の克服に熱心でなかったから、その部分が文字通りの不得手になったわけで、それを是正するには本人に倍旧の努力を強いることになる。また仮に何とか人並みにまでなったとしても、それを今度は長所にまでもっていこうというのは、非効率以外の何ものでもない。

職人にとっての短所の是正は、一人前になって少し余裕ができてからやればよい。「好きこそ物の上手なれ」というように、不得手なことで腕を上げたり、職場に貢献しているような例はあまり聞いたことがないからだ。

人は自ら学ぼうとしたとき、もっともよく成長する。そのためにはその子の得意分野を、指導する立場の者が早く把握してやることが重要である。たとえば性格的な長所や、得意なこと、これまでのめりこんでやっていても苦にならなかったこと、憧れていることなどを早い段階でそれとなく聞き出して、職人仕事のなかで使えそうな特長があれば、そちらに導いてやることもできる。

そのうち、ただ若かっただけの連中の顔も次第に引き締まり、職人らしい精悍な顔になってくる。

世界の蘭展から（グランメッセ）

日本教育９月号「教育の話題」
コラム欄から引用

※　原田氏は、有名神社、仏閣の建築や修理に携わる屋根葺き職人。

輝かしい未来や可能性を秘めたこどもたちにとってこの一年が素晴らしい一年になりますことを祈念しながら、念頭のあいさつといたします。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

（職員向け一月校長室だよりに、加筆して）

○○雪遊び○○

１月１３日（火）はかなりの積雪がありました。朝からどの学年も雪遊びに興じました。

誰が作ったのか。夕方でもとけていませんでした。

○一月児童集会○

給食委員さんが、「給食は二十回かみましょう。」という提案を人形劇でしました。発表後の「返し」では、六年生の菊○君、四年生の田○君の若○さん、三年生の若○君が、「十回くらいしかかんでいませんでした。よくかまないといけないことがわかりました。」と咀嚼することの大切さを伝えました。

運営委員さんは募金活動の協力を呼びかけました。

授業参観スナップ　めりはりある学校生活

１２／５（金）

「十二月授業参観・学級懇談会・ＰＴＡ研修会」

一年生（一組・二組・あおぞら）合同体育

一年生は、「一組」「二組」「あおぞら」の合同体育をしました。「とび遊び」がテーマでした。まず、写真のように、準備運動を行い、その後、ハードル、けんけんぱ、ステージからのマットとび降りなどをしました。最後はこれらの運動を連続わざに挑戦しました。連続わざは、一つの抵抗こどもにとっては新しいわざであり、あるものなのです。

河内先生の号令で体をほぐし、温めました。（準備運動）

あおぞら教室の○○くんは兒玉先生の号令でスタート。とび遊びを楽しみました。

体育館を全員で、体が温まるまで走ります。中には素足の子もいます。（準備運動）

二年生・国語

ドラえもんでもおなじみの「あったらいいな、こんなもの」の勉強でした。自分で考えた夢ある道具を考案し、友達の意見を聞いて、その素晴らしいアイディアを取り入れて、もっとよりよい道具にして発表会をしました。

三年・社会

三年生は、「野菜について調べたこと」を、班の人に説明しました。細かいことまで調べている人もいてびっくりしました。

二つの班に分かれて、進行係を決め、一人ずつ説明しました。話し手はゆっくり・はっきり話し、聞き手は質問やよくするところを考えながら聞きます。

班の人に積極的に説明します。メリハリがあり、動き（ダイナミックさ）もある授業でした。

四年一組・学級会

自分たちのクラスをよくするために、クラスの目標を達成するにはどうしたらいいのだろう？

「元気・助け合い・進んで行動」というクラスの目標を具体化する活動を話し合いました。

四年二組・道徳

体の不自由な人が本当に困っていたら、恥ずかしがらず、勇気を出して声をかけたいな。

「心の信号機」という題の道徳資料で、体の不自由な人への接し方を学びました。

五年・国語

漢字の組み立てを勉強しました。「音読み」と「訓読み」「訓読み」と「訓読み」などの漢字があり、分別しました。難しいことにも挑戦です。

国語の勉強で、結構難しい漢字も少しずつその組み立てがわかってきました。

ぐっと身近に！碧水小　学習状況・行事紹介

六年一組・国語

６の１ディベート。相手を説得するには、論の進め方や資料の準備が大切です。

「ディベート」の形態で、「野生の動物と動物園の動物、どちらが幸せか・」というテーマで話し合いました。結果は参観したご保護者の方のご意見も参考にして、「九対八」で野生の動物派が勝ちました。

六年二組・算数

図形の勉強は、楽しいけど高度です。習った基礎基本を駆使しないと解けません。

台形の面積の求め方の勉強は、それまで習った三角形や長方形の面積の出し方を長方形にも平行四辺形にもして考えます。

もしも、算数の問題で解けるようになるには、説明する力につくよう、総合的な力を必要とします。

基礎基本を活用して問題を解くいい問題と言えます。

阿蘇中校区差別をなくす子ども集会

十二月十八日阿蘇中にて

今年から始まった「中学校区ごとの差別をなくす子ども集会」です。三校会（碧水小・乙姫小の六年生と阿蘇中の一年生）の児童生徒が一同に会し、差別をなくすために発表します。両小学校の五年生も参加しました。長崎の修学旅行で学んだことや渋染一揆で勉強したことを劇にしました。素晴らしい発表が様子の写真です。熱演しています。

参加した人は、感想や自分の取り組みたいことを必ず発表します。後方は日吉教育長先生。「返し」ます。

ばってん城次講演会　碧水小ＰＴＡ研修会

十一月二十七日（木）夜七時から、ばってん・城次氏を迎えて、ＰＴＡ研修を行いました。

「我が生き方」と題した、城次氏の講演会でした。

①　人生の中で、私たちが軽妙な語り口演わざ教えられた荒川先生の講演会でした。

②　ぶれない心を学び、残されたこれからの生き方のヒントをもらえたと思います。

③　笑顔と軽妙な語り口演わざ

真剣に聞いてました。